

今を未来に

5月14日（木）の国の専門家会議の分析等を受け、四日市市教育委員会の指示のもと、本校においても、5月18日（月）から学校を再開いたしました。再開するにあたっては、感染症及びその拡大リスクを可能な限り低減させるため、18日（月）は6年生のみの登校、19日（火）から22日（金）までは、2グループに分けた地区別分散登校の形で実施しました。

登校時の子どもたちの様子は、長期にわたる休校とあって、多少元気がありませんでしたが、クラスで授業が始まると、先生や友達といつものように話をして楽しそうに過ごしていました。

5月25日（月）からは、給食が始まるとともに、授業も平常日課で進められ、やっといつもの保々小学校に戻ることができます。

今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を通して、学校に子どもが来て、普通に授業ができることこそが、私たち教職員にとって最大の喜びであり、幸せであることを痛切に感じました。普段、普通に営まれている学校生活こそが最大の幸せであることを全教職員でかみしめ、今後も充実した教育活動を進めてまいります。

地区別分散登校をするにあたり、登下校時の安全を確保するために、多くの保護者の皆さんや地域の方が、付き添いなどの見守り活動にご協力いただき誠にありがとうございました。本年度は、学校の臨時休業の影響で、1年生の登下校が十分に訓練されておらずたいへん心配しているところです。5月25日（月）から平常日課（給食あり）となりますが、ご協力いただける保護者や地域の方は、今後も子どもたちの登下校の付き添いなどの見守り活動にご協力をいただけると幸いです。学校だけでは、カバーできない死角の部分を手助けしていただきますようお願いいたします。

1. 新型コロナウイルスの対策に関わって

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するとともに子どもたちに『学びの保障』をするため、今後の教育活動を以下のように進めていきますので、ご理解ご協力をお願いします。

また、各ご家庭におかれましても、引き続き、毎朝の体調チェック（検温など）をお願いします。

（1）教室等での授業について

- 『密閉・密集・密接』が重ならないようにしていきます。あわせて、手洗い、咳エチケットなどの基本的な感染症対策についても続けていきます。
- 子どもたちの座席間の距離については、可能な限り確保します。
- 座席間に十分な距離及び適切な換気が行われている場合においても、今後、当面の間、マスクの着用を含む、咳エチケットの指導は続けていきます。
- 授業中で、グループ活動など対面となる場面は極力避けるようにします。各教科の学習上、やむを得ない場合は、マスク着用等を徹底します。

（2）実技が伴う教科の指導について

- 体育や音楽などの実技が伴う教科においては、教科の特性上、身体接触や友達との関わり

合いの場面が多くみられます。そのため、年間指導計画の入れ替え等を実施し、より感染症リスクの低い活動（個人で行える活動など）から始めたり、活動の場を工夫したりして感染症予防に努めます。

【体育科】

- ・近距離で組み合ったり、密集したりする運動は避けます。また、換気ができている広い場所であれば、必ずしもマスクの着用は必要とされていませんが、授業後には手洗い等を徹底し、感染症を予防します。

【音楽科】

- ・鑑賞など感染リスクの低い活動から始め、歌唱指導の際には、一人ひとりの間隔を空け、人がいる方向に口が向かないようにして実施します。

【家庭科】

- ・調理実習などの感染リスクの高い活動は当面の間行いません。

(3) 給食（昼食）の指導について

- 給食（昼食）の際には、特に手洗いの徹底を図ります。
- 配膳については、教師がしっかり目配りを行い、当面の間は、食べる際に席を向かい合わせにしないようにします。

(4) 登下校の指導について

- 公共交通機関を利用するの通学とは異なり、徒歩通学については、登下校時の感染リスクは低いとされています。しかし、登校後は必ず手洗い等を行ってから教室に入るようにすることによって、感染リスクを下げるようにします。（下校後も手洗い等を行うように、家庭での声かけをお願いします。）

2. 学びの保障に関わって

夏季休業日の短縮等の措置や行事の精選により授業時数を確保し、年間計画を再編成する中で、各学年の学習内容を本年度の終わりまでに指導します。

(1) 1学期の評価について

- 1学期の評価については、6から7月の指導に基づき、すべての教科において適切に評価します。ただし、1週間あたりの授業時数が少なく、適切な評価するための時数が不足していると判断した場合には、2学期にまとめて評価する教科もあります。

(2) 家庭学習の充実について

- 家庭学習や夏季休業中の補習などを通して、学力の定着を図ります。
- 家庭学習システム『学んでE-net』を活用し、教科書や授業とリンクさせた家庭学習の取り組みを進めます。また、ネット環境等がないご家庭にも、学校からプリントを配布したりします。

3. 新型コロナウイルスに関わる差別や偏見等の防止について

感染者やその家族、医療従事者に対して、誹謗・中傷などの差別や偏見等の事象が全国各地で多発しております。本県においても、同様の事象が発生しており、新型コロナウイルス感染症に対する正しい認識不足や、自分の不安な感情を弱い立場にある人にぶつけてしまう心の弱さがこのような事象をおこさせています。

新型コロナウイルス感染症に対する正しい認識と、自分自身の不安な感情を弱い立場の人に向けていないか、大人も子どももしっかりと振り返り、このような事象にであった時にどう行動すればよいのかをみんなで考える必要があります。

そこで、子どもたちにおいては、特別活動や道徳の時間等を使い、正しい知識に基づいた考えや行動がとれるような学習を進めてまいります。本校の児童が、このような差別や偏見にであったとき、差別や偏見を指摘して、是正する側の立場で行動できるように、私たち教職員も子どもたちといっしょになって、学びや気づきを深めて実践力につなげていきたいと思っております。

思いやりにあふれ、お互いに助け合える学級づくりを進め、誰もが安心して登校できる学校づくりを目指して、学校全体で取り組んでいきます。

4. 今後の学校行事について

今後の学校行事につきましては、実施の可否について市内全小中学校で統一するもの（修学旅行や運動会など）と、各学校において判断するものがあります。

統一する行事につきましては、四日市市教育委員会から指示のあった段階で、各ご家庭にお知らせします。各学校において判断する行事につきましては、学校規模等によって実施の可否や方法が異なります。実施する際には、子どもたちの安全を最優先に考えながらも、子どもたちにとってより良い行事になるように工夫していきます。

5. おわりに

以上のように新型コロナウイルス感染症につきましては、四日市市教育委員会の指導を受けながら適切に対応してまいります。

今後も学校は、各家庭と連携しながら大切なお子様を全力で支えてまいります。何か不安なことやお困りなことがありましたら、いつでも学校へご相談ください。